

## 岩場整備問題 討論会開催のお知らせ（お知らせ・検討依頼）

各位

関西岩場環境整備ネット（KINET）

西村良信

平素は各種活動に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

不動岩・駒形岩に精通されている皆様方に検討・議論していただきたい内容の案件が3件 KINET に届きました。この内容を検討・議論し解決策を得るため討論会を開催しますのでご参集よろしくお願ひ申し上げます。

-----記-----

開 催 日 時： 平成 28 年 4 月 16 日（土） 18 時～

開 催 場 所： 神戸登山研修所 会議室

議 題： 1. 駒形岩 斜陽「5.9」の「4ピン目ボルトを約70cm下方に下げる」か「3・4ピン間にボルト追加する事」について  
2. 不動岩 ビッグボルダー アヒルのお尻「5.9」の2ピン目ボルトを約1m下げる。  
3. 不動岩 小熊物語とワンマンショー共有の下部スラブの現ボルトをワンマンショー用とし小熊用としてスラブ左手に新たに2本～3本を打ち足す。この事により両ルートがほぼ同時に登れる事になります。  
4. 烏帽子岩 シーズ・ソー・デリケイトの細引きの付いたリベットをケミカルに打ち替える。

個々の詳細は別紙ご参照下さい。

以上

決定事項を実施する場合の諸手続について

イ) 地元・地権者関係

1. 本件の結論が出てから対応予定

ロ) 開拓者・初登者の承諾

1. 本件の結論が出てから対応予定

ハ) 改修と決定した時の具体的工法

1. Fixe#014 ケミカルアンカーを RE500 接着剤で固定
2. 現状ケミカルアンカーをディスクグラインダーで切断撤去
3. 撤去場所岩面の清掃

ニ) 改修作業者

1. KINET メンバー
  2. リボルト経験者
- 等を予定

ホ) 本件のご意見等連絡先

[kinet2008koho@yahoo.co.jp](mailto:kinet2008koho@yahoo.co.jp)

## 議案の詳細について

### 1. 駒形岩 斜陽「5.9」の4ピン目ボルトを約70cm下方に下げる事について

駒形岩 斜陽の4ピン目ボルトへのクリップに失敗した時に3ピン目下の15cm程度のバンドに激突して骨折・捻挫等の事故が多いため、ボルト位置変更等の改修の依頼がありました。改修案として出された内容は下記の通りです。

#### 1. 改修提案

1. 4ピン位置を約70cm下に下げる。
2. 3～4ピン間にボルト追加。

以上の2案が出されました。

KINET内部の議論では過去の同問題の経緯から2.のボルト追加はあり得ない事ですが、関係各位のご意見を求めます。以下はKINETの議論内容です。

A) 現在も強固なボルトが設置されているのにどこまで安全にすれば良いのか

B) 確保技術の方法に問題は無いのか？ 具体的には4ピン目クリップ失敗墜落時に

ビレイヤーのロープコントロールと後方へ飛ぶ確保方法を行えば打ち替えなくても良いのではないか等の意見が出ました。

## 2. 不動岩 ビッグボルダー アヒルのお尻「5.9」の2ピン目ボルトを約1m下げる。

「アヒルのお尻 5.9」



登りながらこれは5.9では絶対無いと思った。

1ピンと2ピン間が遠いのだが、その間のホールドがあり得ないくらい悪い！写真の位置近くまで登らないとクリップ出来ない。ここで落ちたらグランドフォールする。5.9のグレードでこれはあり得ない。写真の青丸に立ってクリップ出来るようにするのが自然だと思えた。1～2ピン間の遠さに比べて2～3ピン（赤矢印）間が近い！そしてこの間のホールドはガバばかりでした。なので赤い丸の範囲内に2ピンを打ち替えれば理不尽なクリップの強要は無くなると思う。

**2ピン目ボルト位置を約1m程度下げる。**

### 3. 不動岩 小熊物語とワンマンショー共有の下部スラブの現ボルトをワンマンショー用とし

小熊用としてスラブ左手に新たに2本～3本を打ち足す。

過去に下記の意見がありました。KINETの掲示板をご覧ください。意見の一部をコピーしました。

小熊の件 その2 投稿者：中村 博 投稿日：2012年5月3日(木)22時54分43秒

そのやま様の意見を読ませて頂き、私も投稿しようと思いましたが、その前にもう一度小熊ルートを試登してからの方が良いかと思いついて遅くなってしまいました。

前回の投稿で3点書きましたが、私が一番言いたかったのは、宮本さんのご指摘どおり

『小熊とワンマンショウを完全に分けたルートにして欲しい。』と言う事です。

そうする事により、他の2点のメリットも得られるということだけで、

出来るだけ安全にと言うことがメインでは全くありません。

他の2点は付けたし程度と理解して頂けたらとおもいます。

私は、怖いと思うルートが良いルートだとは思いませんが、そういうルートが有り、そのやま様の言うように『危険のリスクを考えながら、工夫をしてリスクを最小限にする。』と言うのは非常に大事な事だと思っています。それは、登ること以上に大事な事だとも思っています。ただ、今回の小熊については、核心は上部ハング帯であり下部スラブはどちらにボルトが有ってもそんなに変わらないのではと思います。

また、そのやま様の指摘で『ボルトの位置はそのルートの基本的ライン』とありますが、私は、一昨日スラブを登り、ローダウン時にKI-NETのボルト追加の計画案部(このHP内に写真有り)に印をつけ、再度リードを行いました。

最初に印にクリップ動作のみを行い、その後既設のボルトにクリップしスラブを登りました。

その結果、ムーブやホールドは全く同じ様に出来ました。と言うより、違ったムーブは出来ませんでした。クリップ位置は異なる事も有りますが、使っているホールドは全て同じでした。

ただ、クリップが右手ですか左手ですかと言う違いだけでした。

私は173cmなので、いろいろな方が試されたら良いと思います。

それをリボルトに反映させれば良いと思うのですが。

また、前回書かせて頂いたように、下部3ピンはどう見てもワンマンショウの下部にあり、小熊の下部ルートについては設定者が本当に特別の意向、主張が有ったのか・・・

私には疑問です。ただ、私がそれを読み取る能力が無いからかも知れません。以下略

不動小熊物語下部ボルト移設 投稿者：杉山 豊隆 投稿日：2012年5月14日(月)23時14

分8秒 不動岩中央壁小熊ルート下部ボルト左側への移設について 2012.05.14

大阪ぼっぼ会 杉山豊隆

最初に、西村さん、大北さんに Kinet 掲示板をみてくださいと言われて、やっと見るという勉強不足を反省と共にお許しを下さい。

20 数年間不動に慣れ親しんできています。その間相当の人たちがこの中央壁を訪れ小熊、ワンマンショー、タイコ、ペガサスにチャレンジしていったことでしょう。

その中の多くの方はレッドポイントをしたら次の岩場へと移動し去って行きました。

この岩場に 10 年 20 年と常時訪れ楽しんで登っているクライマーは僅かです。

そんな環境の中で今問われているワンマンショーと小熊の下部のルート分割が提案されているようです。その理由を挙げてみると

- 1) 小熊を登っているとワンマンショーが登れない。
- 2) ボルトを左に寄せれば、小熊のルートがより直線的になりすっきりする。

ではないでしょうか？私は現状維持でなんら問題はないと考えて（思っ）ています。満足しています。だから

- 1) の小熊、ワンマンショーを登っている人がおれば待つおればよいだけです。

昔私的にペガサス、タイコ、ワンマンショー、小熊を続けて登れば 11j とグレードづけしてトライしていました。これには持久力のほかに、タイミングが必要です。登りたい所に誰かが登っておれば続けて登れません。11j は待つことです。そのタイミングが合ったとき初めて 11j を RP できました。最高の気持ちでした。

この小熊、ワンマンショーのように下部を共有しているルートは他にもあります（どなたか共有しているルートは知りませんと言っておりますが）。柏木、備中、小川山、城山、隣の烏帽子、駒形にも共有しているルートはあります。不動だけでは有りませんね。

そんなルートもやはり待たなければなりません。

もし 50 歳なら 60 歳までは 10 年あります。私の歳までなら 18 年もあります。時間は十分あります。過去の多くの人たちが歩んだようにこのルートを RP して他の岩場に早く行きたいために時間が無いのであれば問題外です。そんな気持ちの人ならあえてこのルートを登らなくてもいいのではないのでしょうか？この岩場を何年もこよなく愛する人なら待つ時間なんて十分あります。

2) のボルトを左に寄せればルートがすっきりする。すっきりとは直線的になる事がすっきりすることなんでしょうね。私は今のままでもすっきりしたルートで素晴らしいルートとと思っています。

今のルートの横に別にボルトを打たなくとも良い所に、いくつかの理由でボルトをわざわざ打ち

足すことは岩場が汚れることに他無いと考えています。

このルートの製作者は何を考えて共有にしたのでしょうか？

今まで、この形で登って 11a の小熊をオンサイトした、レッドポイントしたのであって、何十回も、ひょっとすると 100 回以上かもしれなく登っている素晴らしいクラシックルートがたった上記の理由で変えられてしまうことには、違和感を抱き、寂しい限りです。

グレードが高いルートは 1 ピン目が比較的高いところにあり、1 ピン目を掛け損なうとグラウンドフォールであり恐いですね。先輩から良く言われました。その離れた 1 ピン目まで登れないのであれば、恐いのであればそのルートを登るには 10 年早いと思えと。小熊の 1 ピン目も遠いですね。20 年ほど前に RP のためにトライしていた頃は今のようにその手前左に長いヌンチャクを掛けてなんてしていませんでした。でも今は長いヌンチャクを掛けて登っています。その下に一本打ち足せばよいのには勝手な考えです。打ち足したボルトが無ければ登れない人はどのルートでも同じですが自分で考え工夫をして登ればよいだけです。ウリウリの 1 ピン目も同じです。昔はこれも手前左にカムをかまして登っていました（落ちたら振られて余り意味が無いかもしれませんが）。ワンマンショーを登る時も手前のクラックにカムを噛まして登っていました。長くなりましたが、小熊も 1 ピン目の手前左に長ヌンチャクを付けて登る場合は、ワンピン目を掛けた後にテンション無しで少しくライミングダウンして掛けた長ヌンチャクを外してから登れば落ちた時に足に引っ掛ける心配は解消されるでしょう。

また 3 ピン目から左上していくロープにハング上で落ちてロープバーンをした人を私は見たことがありません。

最後に 20 数年登っていますが、ボルト位置を変えたらと言う事を聞いたためしがありません。また何でも反対ではなく時代と共に新しく変えていく、変わっていくことに良いことであれば受け入れる心は持っております。

ぼっぼ会も KINet にその意義を感じ毎年僅かな金額ではありますが、協力させてもらっています。ぼっぼ会内での討論も未だしておりませんが、とりあえず「ぼっぼ ML」で意見を聞いています。14 日現在、賛成 7 名、反対 5 名、その他 0 です。

賛成意見、反対意見は意見交換の場で発表させていただきます。

#### 4. 烏帽子 シーズ・ソー・デリケイトの細引きの付いたリベットをケミカルに打ち替える。

リボルト当初、左のクラックにカムがセットできるのでリベットをそのままにしたと記憶していますが、打ち替えを検討下さい。